

2019年度「専門特殊研究」研究会一覧（秋学期追加分）

文学学術院

2019年度実施の専門特殊研究の秋学期追加研究会は以下のとおりです。

「科目登録マニュアル」も確認してください。

なお、本内容は講義要項には掲載されていませんので、ご承知おきください。

【専門特殊研究について】

高度な原典購読や資料解読、数理系の問題演習など、少人数による上級者向けの研究会での成果を、学部での履修単位として認定するための科目です。

<履修について>

- 1科目2単位とし、合計8単位を上限に卒業必要単位に算入されます。
- 年間における登録制限単位数、科目数には算入しません。
- 同一の学期に2研究会（4単位）までの単位認定が可能です。
- 入学後2学期目から卒業見込み学期の前学期まで履修することができます。
- 本研究会は科目登録の結果通知には反映されません。

<成績について>

- 学期終了後、一定の条件を満たした研究会において、十分な成果を収めた学生についてのみ、単位の認定を行います。
- 評価は次学期の初めに行われ、実際に参加した次の学期の単位となります。
- 合格の場合、成績証明書には、「専門特殊研究（主副・担当教員名） 配当年度 配当学期）」と記載します。

★各研究会の内容に関するお問い合わせは、以下の担当教員まで直接お問い合わせください。

（以下、学期・曜日・時限・主題名五十音順）

秋学期	火	1時限	実施曜日・時限 の特記事項
参加可能年次 2年以上	主題 日本近代史料講読		担当教員 真辺 将之

研究概要

日本近代史にかかわる一次史料(くずし字)の史料を講読する。中程度の難易度のもを自在に読める能力を育成することを目指す。初学者でも参加できるように当初は文字起こしが既にされているものを講読するが、中途より各自に相当量の史料を割り当て、翻刻を作成してもらい、それを参加者全員で検討する。相当量の予習・復習が必要になるので本当に読めるようになりたいという方の参加を求める。

使用文献

市島春城筆記史料(早稲田大学図書館所蔵)ほか適宜教員より指示する。

活動記録の内容、提出方法

各自に史料を割り当て翻刻を作成し提出してもらおう。その解読度によって評価を行う。

受講者選考方法

面談による。受講希望者は、事前に受講希望理由を、真辺将之(mana@waseda.jp)にメールで提出すること。受講生へは個別に連絡する。

備考

以上